

# 研究だより

入新井第五小学校  
研究推進委員会  
R5年9月20日(水)  
第3号

## 学校・学級に適応プロジェクト

### 5年 学級会「みんなのことをもっとよく知ろう会をしよう」

#### ◎授業について

9月20日(水)に第3回校内研究授業を行いました。議題は、「みんなのことをもっとよく知ろう会をしよう」です。まず、本校の研究主題である「予測困難な時代を生きていく児童の適応力の育成～主体的・協働的な活動を通して～」を受けて、学級や学校の一員としての自覚やコミュニケーション能力の向上、よりよい人間関係づくりを、本授業を通して目指すことにしました。

2学期に入ってから、議題集めをした中で、「1学期を過ぎて、まだクラスの友達について知らないことが多いから、もっとみんなのことを知りたい。」という提案が複数ありました。そこで、学級全体に確認すると、「みんなのことをもっと知りたい。みんなのことを知って互いのことを考えて行動できるようにになりたい。」という思いをもっていることが分かりました。そうした子どもたちの願いを受けて、今回の議題に至りました。

【事前】学級の一員として、本議題に対して自分はどうかを、事前に学級会ノートに書き記しました。学級会ノートには、みんなのどんなことを知りたいのか、様々な意見が書かれました。また、計画委員会では、学級会当日に向けて、ICT教材を活用しながら意見の整理をしていきました。それらの内容を、事前に学級で共有しておくことで、円滑な話し合いを目指しました。

【本時】今回は、「知ろう会で伝える内容」と「会全体の工夫」の2つの内容について話し合いました。まず、内容については、伝えたいことが全部で6つ出ています。それぞれを比べながら、今の学級にとって何が必要で、何を伝えたらみんなのことをもっと知れるだろうかと考えて話していました。さらに、工夫の話し合いでは、「歌詞がついていると気になるから、流す音楽はメロディーだけのものがいい。」といった、実際に会を行うことを想定して話す様子が見られました。全員が真剣に参加し、意見を出し合うことで、伝える内容と工夫して取り組むことを決めることができました。振り返りでは、子どもたち自身が前回より成長したところを発表しました。自分や友達、学級のよさを友達の言葉で聞くことで、互いのよさを認め合えるようにしました。

【事後】「みんなのことをもっとよく知ろう会」当日は、みんなで輪になり、和やかな雰囲気の中で会を進めていきました。「えー、そうだったの。」「知らなかったよ。」と、友達の新しい一面を知ることができていたようです。今回の実践を生かし、さらによりよい関係を築いていってほしいと思います。

#### ☆指導・講評

・話し合いは目と目を合わせて、話していくことが必要である。自分や相手の思いを伝えたり受けとめたりしていけるようにする。

○実際の場面を想定して話している児童が多くいた。これまでの学級会や集会活動の経験が活かしていると感じられた。

▲学級会ノートについては、事前に書いて自分の思いを整理しておく程度に留め、実際に話すときにはノートを見ずに、相手の目を見て話せるようにする。

▲話し合うべきことは何かを、教師が児童に示していけるようにする。集会活動のゴールを想定し、何を話し合うかを考えていく必要がある。



